

文学研究科の多彩な教育・研究支援

下線部は研究科独自のもの。
情報の詳細は、リンク先
もしくは右バナーのリンク先を参照。

大阪市立大学文学研究科
若手研究者支援

草生 久嗣 (文学研究科・教授)
〈都市文化研究センター所長〉
佐金 武 (文学研究科・准教授)
〈同 副所長〉

1. 文学研究科による若手研究者支援

URL ⇒ <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/academics/graduate/early-career-researchers>

1) 全般的な支援制度

①研究奨励給付金制度 (文学研究科)

文学研究科の大学院学生 (後期博士課程) のうち優秀な大学院生に 50 万円を上限とする研究奨励金を給付します。
2019 年度 2 名 (ともに満額)、2020 年度奨励金給付者 1 名 (満額) が選ばれました。

②中長期海外渡航助成制度 (文学研究科)

文学研究科の大学院学生 (後期博士課程) で、中長期 (3 か月～1 年) にわたり海外の大学・研究機関での研究を希望する人に、50 万円を上限として助成を行います。

③若手研究者出版支援制度 (文学研究科)

博士論文に基づく研究成果を、単行本として出版するための出版費用を一部 (上限 50 万円) 補助します。

*その他、全学の各種奨励金制度 URL ⇒ https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/financial_aid/ocu_scholarship

2020 年度より「大阪市立大学研究奨励金」制度開始。 大阪市立大学大学院後期博士課程に在籍している者、上限 30 万円。ただし、21 年度採用分日本学術振興会特別研究員への応募申請済、そして、年間収入が一定金額以下であることなどが条件。

2) 日常的な学会発表、調査・研究活動の支援

①大学院生学会・調査参加国内旅費支援制度 (文学研究科)

文学研究科の大学院学生 (前期博士課程、後期博士課程) に対して、国内の学会参加や調査の支援 (上限 5 万円) を行います。募集は 4 月、7 月、10 月の年 3 回行います。(研究科内で告知)

②「夢基金」海外留学・渡航支援制度 (国際センター) ほか 海外留学関連奨学金情報の提供

URL ⇒ https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/study_abroad/scholarship

全学の学部生・大学院生対象に、8 日間～1 年間の留学資金 (短期 6～10 万円、長期 B 70 万円など) を支援する「夢基金」ほか、応募可能な奨学金情報を常時提供しています。(2020 年度 6 月現在プログラム休止中)

③大学院・学部生 旅費等補助制度 (教育後援会) URL ⇒ <http://www.osaka-cu.com/>

全学の学部生・院生を対象に、国内外での研究発表に要する旅費等を補助します (募集は年 2 回程度で、研究会・シンポジウム・フィールドワークなどに向け海外 5 万円・国内 1 万円)。

④文献複写費援助制度 (文学研究科)

文学研究科の大学院学生 (前期博士課程、後期博士課程) に学内使用のコピーカードを配布 (一定度数無償) します。

⑤『人文研究』 (文学研究科 紀要) ⇒ URL <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/jinbun>

文学研究科の紀要の査読付き学術雑誌です。在学院生も投稿が可能です (投稿条件あり)。

3) 教育活動を通じたキャリア形成支援

①TA (ティーチング・アシスタント) 制度

大学院生に授業の補佐や研究室運営などの教育支援業務に従事してもらい、自身の教育研究者としての資質向上にも役立ててもらおうことを目的とした制度です(報酬は業務内容等によって異なります)。(指導教員に相談)

②大学教育授業実習制度 (文学研究科)

研究職を目指しているポストドク他若手研究者が、大学教員としてのキャリア形成を目的に、プレFD研修とセットで文学部専門科目の一部を担当(非常勤講師として)します。大学教育の実践の場です。(指導教員に相談)

③女性研究者支援

本学女性研究者支援室は、教員と研究員・大学院生にむけて、女性研究者奨励賞・特別賞〔岡村賞〕 *や女性研究者短期留学助成金、同外国語論文・校閲助成事業*を実施しています。

2. 都市文化研究センター (UCRC Urban-Culture Research Center) URL⇒ <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/UCRC/>

21世紀COEプログラム「都市文化創造のための人文科学的研究」(2002-07年度)採択以来、活動を展開してきた文学研究科の共同研究拠点の中核となる組織。国際的な学術交流や共同研究を推進し、若手研究者の活動支援や研究成果の国際的発信を推進します。

1) 研究の機会を得る／研究の幅を広げる

①UCRC 研究員制度

研究業績と研究計画にもとづく審査により後期博士課程院生、同修了生(単位修得退学者)などを正規の研究員として採用し、本学所属研究者としての地位を保証します。研究員には学術情報総合センター利用資格や、学術雑誌『都市文化研究』への投稿資格のほか、文学研究科プロジェクト、UCRC 若手プロジェクト、日本学術振興会科学研究費への応募資格があります。

②日本学術振興会特別研究員 申請対策講座

③科学研究費申請支援事業 (文学研究科・UCRC)

科学研究費研究計画書について、審査員経験者や採択経験の豊富な人文・社会系の教員が執筆指南をします。

2) 研究成果の発表

①学術雑誌『都市文化研究』 URL⇒ <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/UCRC/magazine>

- ・年1回刊行の査読付き学術雑誌(論文・研究ノート・翻訳・書評などを掲載)
- ・文学研究科を支える「都市・文化」への関心を軸に、文学研究科に関わるすべてのジャンル、テーマを対象とした内容です。

②電子ジャーナルUrbanScope URL⇒ <http://urbanscope.lit.osaka-cu.ac.jp/index.html>

- ・査読付き国際学術雑誌(論文・ノート・翻訳などを英文掲載)
- ・Web上でアクセス・ダウンロードが可能なオープン・ジャーナル(フリーアクセス)

3) 語学能力・国際発信力の向上と海外渡航支援

①国際発信力育成インターナショナルスクール URL⇒ <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/IS/ja/>

- ・IS集中科目 9月(前期末)に学外講師を招聘、英語によるセッションを行う文学研究科共通科目です。
- ・トレーニングプログラム 大学院生・UCRC研究員を対象に、英語による研究発表のトレーニングを行います。前期に英文原稿の添削、プレゼンテーションの指導を受け口頭発表発表力を身に着けます。専門学会報告に向けたリハーサル指導の受講も可能。このプログラム修了者には、文学研究科の提携先であるイリノイ大学などの国外英語圏で発表するチャンスも提供します(OCU-UIUC Exchange Symposium)。

- ・**アカデミック・コミュニケーション演習 (I・II)** 大学院水準での英語プレゼンテーションやライティングの基礎を学びます。前期博士課程の共通科目として単位認定されます(後期博士課程の院生も参加可能)。
- ・**論文の翻訳・校閲支援** 外国語(英語以外にも対応)雑誌への投稿や国際学会での発表予定者を対象に、原稿の校閲費を支援します。
- ・**ライティングセミナー実践編** 英語論文執筆に取り組む大学院生・UCRC 研究員を対象に、実践的なアカデミック・ライティングの講習会を行います。
- ・**IS 日常化プログラム** 日常的に海外の研究者による研究発表に接する機会を増やすべく、研究者を招いて開催するレクチャー、研究会、講演会で構成されます。学術コミュニケーションを普段の外国語で行う機会となります。
- ・**ブルーフリーディング制度(2020年新規事業!)**
留学生のための日本語論文執筆支援。研究科所属の大学院生・PDによる日本語校閲を行います。

②国際ナショナルスクール海外渡航支援(文学研究科)

大学院生や UCRC 研究員に対して、学会発表・調査等、短期国外旅行のための財政的支援を行います。(研究科内で告知)

4) 世界的な研究交流と若手研究者の海外派遣

①国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業(日本学術振興会)

・若手研究者の長期派遣と国際共同研究を実施し、国際的な研究者育成を図るもので、文学研究科はこれまで優れた採択実績があります。2011~13年度に「[東アジア都市の歴史的形成と文化創造力](#)」(計5名を東アジア4研究機関に派遣)、2012~14年度に「[EU域内外におけるトランスローカルな都市ネットワークに基づく合同生活圏の再構築](#)」(計7名を欧州3研究機関に派遣)が採択されており、2017~19年度「[周縁的社会集団と近代](#)」(計7名をアメリカ・イェール大学やシンガポール国立大学・上海大学に派遣)を完遂しました。この成果は単行本の出版および大阪市立大学国際学術シンポジウムで公開されます。文学研究科は若手研究者の海外活動を支援します。(リンク先に事業紹介および申請記録)

②海外連携先研究機関

・文学研究科と都市文化研究センターは、以下の提携校とのあいだで共同研究や若手研究者・大学院生の派遣で実績があります。

→釜山大学校韓国民族文化研究所/ソウル市立大学/上海大学/上海師範大学/華東師範大学/広州大学/台湾中央研究院/チュラロンコン大学(タイ・バンコク)/インドネシア国立芸術大学/ハンブルク大学(ドイツ)/イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 CEAPS(アメリカ)/イェール大学東アジア研究マクミラン・センター(アメリカ)

3. 文学部・文学研究科教育促進支援機構 URL⇒ <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/education>

学生(学部生および大学院生)の「学び」を支援する多彩な事業を、学生・院生たち自らが企画し、教員と協働して実施します。文学部・文学研究科の教育活動に、他大学にはみられない創造性をもたらしています。(※以下、大学院に関わるものだけ紹介)。

①**研究奨励賞** 大学院生によって刊行された全ての論文の中から、優秀論文を表彰します。

②**共同活動支援** 文学部・文学研究科の教員と大学院生・学部生の共同研究活動(調査旅行・フィールドワーク)を支援します。

③**勉強会・自主ゼミ支援** 学部生・大学院生が主体となっていく勉強会・読書会や研究会の活動を支援します。

④**研究誌出版支援** 各専門の専修が発行する研究誌・学会誌の出版費用を支援します。